資料６

春日井市観光・にぎわい創出基本計画骨子（案）

1. 基本コンセプト（キャッチコピーの考え方）

訪れたくなるまち・過ごしやすいまち・暮らしたくなるまち

生活“感幸”都市・春日井のまちづくり・人づくり（提案）

（１）目指す姿

まちの状態	● 余暇時間を過ごす場所・体験の充実で市民は幸せを感じ、近隣都市からは春日井へ訪れたくなるまちに ● 観光交流人口の拡大、にぎわいの創出により地域の活力を生みだす
市民の観光意識	● 春日井の良さに気づき、誇りに思い、市民がＰＲしたくなるまちに ● 市民自らが参画し、魅力をみつけ、市民とともに進める観光のまちに
市民の暮らし	● いきいきと幸せに暮らせる春日井に

（２）主なターゲットと春日井市の観光の絵姿

- 主なターゲットとなる観光者は春日井市民自身と近隣都市住民。
- 家族や友人との遊びや癒し・健康等を目的に公園や自然等、春日井市内各所を訪れ、余暇を過ごす。また、市民参加型により創出されるプログラムにより市内外の人たちが交流し、春日井の生活文化や歴史文化、産業文化等を知り、春日井の良さを体感してもらう。
- それらの活動により市民の幸福度“感幸”を高めるとともに、近隣都市住民も含めたこれらの観光交流活動により、春日井市民が普段あたりまえと思っていた良さに気づいてもらう。それが、地域の魅力を自分ごととして捉えるきっかけとなり、住みやすいまちだけではない新たな春日井市民としての誇りを生み出すことに繋げていく。
- また、地域の魅力を高め、近隣都市住民の利用を促すことで、市民だけが満足している春日井から、外の人たちとも春日井の良さを共有できる観光のまちの絵姿を描く。

（参考）第六次春日井市総合計画（基本計画：2018～2027 年度）
暮らしやすさと幸せをつなぐまち　かすがい
関連政策：【都市基盤・産業】活力を生み、人が集い交流するまち

2. 評価指標

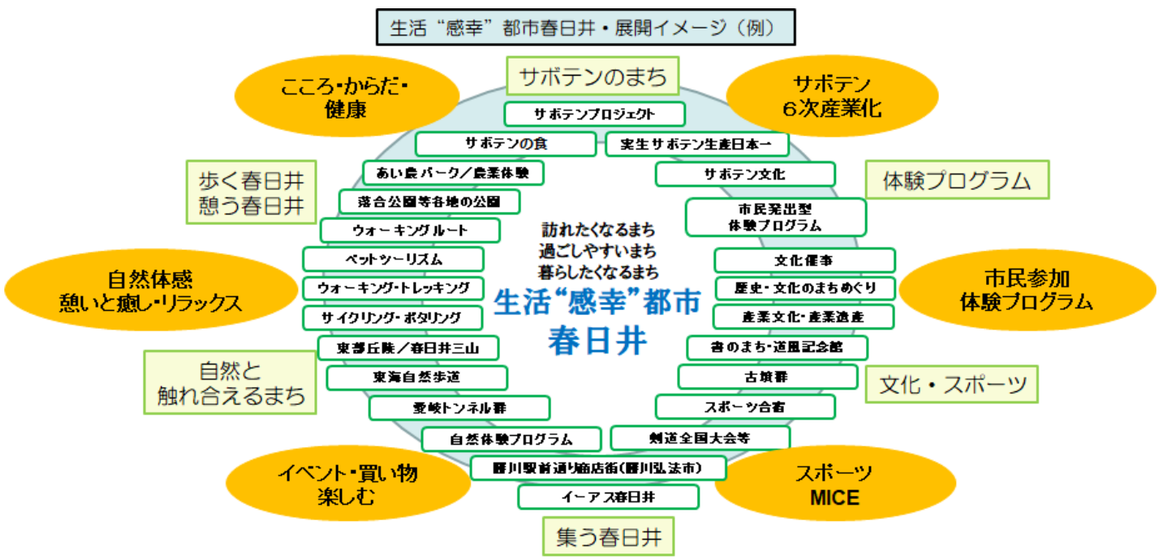
指標①	市民の満足度、幸福度、誇り度の上昇（市民アンケートより）
指標②	観光プログラム数の創出→増加（計画初年度をベースに増加）
指標③	春日井の観光のイメージ度の上昇（市民アンケートより）

3. 基本方針

項目	内容
(1) 魅力創出	① 春日井の観光資源を活かした魅力づくりを進めます ② 生活“感幸”都市としての観光の魅力を創出します
(2) 経済振興	③ 観光を基軸とした総合産業としての振興をはかります
(3) シティプライド・市民参加	④ 春日井市の知名度向上、春日井への関心度向上に繋げます ⑤ 市民の誇りに繋がる観光交流施策を展開します ⑥ 市民・企業等を巻き込んだ参加型観光まちづくりを展開します
(4) 受入環境・人材育成	⑦ 誰もが観光しやすい、おもてなしのある受入環境づくりを推進します ⑧ 春日井の観光を担う人材を育成、観光教育にも取り組みます
(5) 持続可能性	⑨ SDGs のゴール・ターゲットを念頭に置いた持続可能な観光まちづくり

4. 計画期間・ロードマップ

- 2022 年 9 月～2027 年 3 月（初年度：2022 年 9 月～2023 年 3 月、最終年度：2027 年 3 月）

	短期（～３年）※2023 年 3 月	中期（～５年）※2027 年 3 月	長期（～１０年）※2032 年 3 月年
(1) 魅力創出	実施	見直し、再実施	見直し、再実施
(2) 経済振興	実施	見直し、再実施	見直し、再実施
(3) シティプライド・市民参加	実施		
(4) 受入環境・人材育成	できることから取組み、継続実施		ゴールは 10 年後
(5) 持続可能性	長期視点での取組み		ゴールは 10 年後

5. 春日井の観光資源整理～現在の魅力と今後の可能性